

6011-1429  
令和2年9月1日

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

## 令和2年度病害虫防除情報第6号

茶のチャトゲコナジラミについて、各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**茶園においてチャトゲコナジラミの発生が多くなっています。  
秋冬期の防除対策を徹底してください。**

1 作物名 茶

2 病害虫名 チャトゲコナジラミ

### 3 発生状況（経過）と防除の考え方

- 1) 本種は、平成25年2月にヒサカキで初確認後（平成24年度病害虫発生予察特殊報第1号）、茶園においても発生が認められ、現在は県内の茶栽培地域全域に発生が拡大している。
- 2) 本年は県内の茶園において、成虫（図1）及び幼虫（図2）が多発し、下位葉にすす（図3）を生じる事例が散見されている。
- 3) 翌年の春期の被害を減少させるため、秋期防除と冬期のマシン油防除の徹底が重要である。

### 4 防除対策

- 1) 園内をよく観察し発生状況を把握する。成虫は新芽（図4）、幼虫は茶園周縁のすす部葉裏に寄生しやすい。また、下位葉にすす症状がみられる場合は発生している可能性が高い。
- 2) マシン油乳剤以外の農薬による防除適期は、若齢幼虫発生期（成虫の飛翔が少なくなる時期）であり、第3世代の防除適期は9月上～中旬頃と予想されるので、地域の発生時期を確認して適期に防除する。
- 3) 発生の多いところでは、ハダニ用ノズルを用いて、樹冠内部の葉裏にも薬剤が十分かかるように散布する。また、散布前にすす刈りを行うと、より効果的である。
- 4) 冬期は、ハダニ類の防除を兼ねて、マシン油乳剤の散布を必ず行い、越冬個体の密度低減を図る。



図1 成虫(体長0.9~1.3mm)



図2 幼虫



図3 幼虫が分泌する甘露により  
すそ葉に生じたすす症状



図4 新葉の葉裏に寄生する成虫

- その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場茶業支場、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》 宮崎県総合農業試験場 病害虫防除・肥料検査課  
(病害虫防除・肥料検査センター) 寺本  
TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127  
E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp